

第78回 簿記実務検定第 2 級試験問題

商業簿記

(制限時間 1 時間 30 分)

1 下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現 金	当 座 預 金	受 取 手 形	売 掛 金
未 着 商 品	積 送 品	未 収 金	仮 払 法 人 税 等
備 品	備品減価償却累計額	支 払 手 形	未 払 金
未 払 法 人 税 等	保 証 債 務	社 債	資 本 金
繰 越 利 益 剰 余 金	売 上	保 証 債 務 取 崩 益	固 定 資 産 売 却 益
仕 入	租 税 公 課	保 証 債 務 費 用	株 式 交 付 費
社 債 発 行 費	固 定 資 産 売 却 損	旭 川 支 店	日 高 支 店
本 店	法 人 税 等	損 益	

- a. 青森商店に注文した商品 ¥632,000 に対する船荷証券を、福島商店に ¥790,000 で売り渡し、代金は同店振り出しの約束手形で受け取った。
- b. 北東商事株式会社は、決算の結果、当期純損失 ¥417,000 を計上した。
- c. 宮城商事株式会社は、取得原価 ¥520,000 の備品を ¥180,000 で売却し、代金は月末に受け取ることにした。なお、この備品の売却時における帳簿価額は ¥208,000 であり、これまでの減価償却高は間接法で記帳している。
- d. 秋田商事株式会社は、次の条件で社債を発行し、全額の払い込みを受け、払込金は当座預金とした。
なお、この社債の発行に要した諸費用 ¥230,000 は小切手を振り出して支払った。
- | | | | |
|---------|------------------|------|-----------------|
| 発 行 条 件 | 額面総額 ¥20,000,000 | 払込金額 | 額面¥100につき¥98.50 |
| 償還期限 | 10年 | 利 率 | 年3% 利 払 い 年2回 |
- e. 岩手商店から商品 ¥400,000 を仕入れ、代金は、かねて受け取っていた仙台商店振り出しの約束手形 ¥400,000 を裏書譲渡して支払った。なお、保証債務の時価を ¥4,000 と評価した。
- f. 山形物産株式会社（決算年/回）は、中間申告をおこない、前年度の法人税・住民税および事業税の合計額 ¥1,160,000 の 2分の1 を現金で納付した。
- g. 北海道商店の旭川支店は、日高支店に商品 ¥90,000（原価）を発送した。ただし、本店集中計算制度を採用している。（旭川支店の仕訳）

2

次の取引を特殊仕訳帳としての当座預金出納帳と売上帳に記入し、総勘定元帳と売掛金元帳に転記しなさい。

ただし、i 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。

ii 特殊仕訳帳は、月末に締め切るものとする。

iii すでに記入してある取引も転記すること。

iv 総勘定元帳と売掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。

v ほかに特殊仕訳帳として、現金出納帳と仕入帳を用いている。

取引

1月7日 千葉商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A 品 450個 @¥500 ¥225,000

20日 千葉商店に売り渡した上記商品のうちに品違いがあったので、次のとおり返品された。

A 品 30個 @¥500 ¥15,000

22日 埼玉商店に次の商品を売り渡し、代金は同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。

B 品 200個 @¥800 ¥160,000

30日 神奈川商店あてに振り出していた約束手形 ¥220,000 が、本日、支払期日となり当座預金から支払われたとの連絡を取引銀行から受けた。

3

次の各問いに答えなさい。

- (1) 東北商店（個人企業）における本店・支店の損益計算書と未達事項および本支店合併後の損益計算書によって、次の金額を計算しなさい。ただし、未達事項整理前の本店における支店勘定の残高は ¥685,000（借方）、支店における本店勘定の残高は ¥431,000（貸方）である。

a. 支店勘定残高と本店勘定残高の一致額

b. 本店損益計算書の旅費（アの金額）

c. 本支店合併後の当期純利益（イの金額）

本店 損益計算書

平成○年/月/日から平成○年/2月31日まで

費用	金額	収益	金額
売上原価	6,675,000	売上高	8,900,000
給料	1,380,000	受取手数料	15,000
旅費	(ア)		
減価償却費	140,000		
雑費	37,000		
当期純利益	(イ)		
	8,915,000		8,915,000

支店 損益計算書

平成○年/月/日から平成○年/2月31日まで

費用	金額	収益	金額
売上原価	2,730,000	売上高	3,640,000
給料	758,000	受取手数料	9,000
旅費	187,000	当期純損失	181,000
減価償却費	120,000		
雑費	35,000		
	3,830,000		3,830,000

未達事項

- ① 本店から支店に発送した商品 ¥92,000（原価）が、支店に未達である。
- ② 支店で本店の買掛金 ¥156,000 を支払ったが、この通知が本店に未達である。
- ③ 本店で支店の旅費 ¥13,000 を立て替え払いしたが、この通知が支店に未達である。
- ④ 支店で本店受取分の手数料 ¥7,000 を受け取ったが、この通知が本店に未達である。

〔本支店合併後の損益計算書〕

損益計算書

東北商店 平成○年/月/日から平成○年/2月31日まで

費用	金額	収益	金額
売上原価	()	売上高	()
給料	2,138,000	受取手数料	()
旅費	491,000		
減価償却費	260,000		
雑費	72,000		
当期純利益	(イ)		
	()		()

- (2) 下記の略式の伝票（5月26日）を集計しさいの仕訳集計表の（a）～（c）に入る金額を計算しなさい。ただし、次の取引について、必要な伝票に記入したうえで計算すること。なお、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。

取引

5月26日 盛岡商店から商品 ¥290,000 を仕入れ、代金はさきに支払っていた内金 ¥100,000 を差し引き、残額は現金で支払った。

入金伝票	
当座預金	205,000
売掛金	346,000
受取手数料	7,000
()	()

出金伝票	
買掛金	140,000
当座預金	89,000
前払金	135,000
()	()

売上传票	
一関商店	376,000
北上商店	420,000
宮古商店(値引)	8,000
遠野商店	109,000

仕入伝票	
花巻商店	256,000
釜石商店	327,000
久慈商店(戻し)	16,000
()	()

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
当座預金	384,000	売掛金	384,000
買掛金	260,000	支払手形	260,000
買掛金	59,000	当座預金	59,000
当座預金	18,000	受取手数料	18,000
支払手形	195,000	当座預金	195,000
()	()	()	()

仕訳集計表
平成〇年5月26日

借方	勘定科目	貸方
	現金	
	当座預金	(a)
	売掛金	
	前払金	
	支払手形	
(b)	買掛金	
	売上	
	受取手数料	
	仕入	
(c)		(c)

- (3) 栃木商店（個人企業）の下記の繰越試算表と資料によって、次の金額を計算しなさい。

a. 仕入高

b. 期間中の追加元入額

繰越試算表

平成〇年12月31日

借方	勘定科目	貸方
490,000	現金	
840,000	売掛金	
370,000	繰越商品	
260,000	備品	
	買掛金	320,000
	借入金	200,000
	資本金	1,440,000
1,960,000		1,960,000

資料

- i 期首の資産総額 ¥1,740,000
(うち商品 ¥280,000)
- ii 期首の負債総額 ¥450,000
- iii 期間中の収益および費用
- | | |
|-------|------------|
| 売上高 | ¥6,140,000 |
| 売上原価 | 5,219,000 |
| 給料 | 615,000 |
| 減価償却費 | 130,000 |
| 支払利息 | 6,000 |
- iv 期間中の追加元入額 ¥
- v 期間中の引出金 ¥80,000

4

関東商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。よって、損益計算書（2区分）と貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高

現金	¥ 509,000	当座預金	¥ 1,170,000	受取手形	¥ 1,850,000
売掛金	2,900,000	貸倒引当金	5,000	有価証券	1,440,000
繰越商品	2,070,000	貸付金	1,200,000	備品	1,800,000
備品減価償却累計額	900,000	支払手形	870,000	買掛金	2,267,000
前受金	130,000	従業員預り金	216,000	資本金	8,000,000
売上	20,820,000	仕入	16,300,000	給料	2,718,000
支払家賃	912,000	保険料	196,000	消耗品費	76,000
租税公課	42,000	雑費	25,000		

付記事項

- ① かねて受け取っていた横浜商店振り出しの約束手形 ¥250,000 が、期日に当座預金に入金されたとの連絡を取引銀行から受けていたが、記帳していなかった。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥2,190,000
- b. 貸倒見積高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 定額法による。ただし、残存価額は零（0） 耐用年数は6年とする。
- d. 有価証券評価高 有価証券は、売買目的で保有している次の株式であり、時価によって評価する。
南西商事株式会社 20株 時価 1株 ¥70,000
- e. 消耗品未使用高 ¥ 13,000
- f. 保険料前払高 保険料のうち ¥150,000 は、本年5月/日からの1年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- g. 利息未収高 ¥ 9,000

第78回 簿記実務検定 2級 商業簿記 [答案用紙]

1	借方	貸方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		

1 得点	2 得点	3 得点	4 得点	総得点
---------	---------	---------	---------	-----

試験場校	受験番号

[illegible]

帳 上 売

3

[illegible]

総 勘 定 元 帳

現 金		1	当 座 預 金		2
1/1 前期繰越	7,000		1/1 前期繰越	400,000	
売 掛 金		4	支 払 手 形		11
1/1 前期繰越	580,000		1/1 前期繰越	300,000	
買 掛 金		12	売 上		18
		1/1 前期繰越 280,000			

売 掛 金 元 帳

茨 城 商 店		1	千 葉 商 店		2
1/1 前月繰越	40,000		1/1 前月繰越	230,000	
群 馬 商 店		3			
1/1 前月繰越	190,000				

3

- (1)
- | | | | |
|---|----------------------------|---|----------------------|
| a | 支店勘定残高との
本店勘定残高の
一 致 | b | 本店損益計算書の
旅費(アの金額) |
| c | 本店当期純利益の
(イの金額) | | |
- (2)
- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| a | ¥ | b | ¥ | c | ¥ |
|---|---|---|---|---|---|
- (3)
- | | | | |
|---|---------|---|-------------|
| a | 仕 入 高 ¥ | b | 期間中の追加元入額 ¥ |
|---|---------|---|-------------|

2
得点

3
得点

4

損 益 計 算 書

関東商店

平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
期 首 商 品 棚 卸 高		()	
仕 入 高		期 末 商 品 棚 卸 高	
()			
給 料		売 上 総 利 益	
()		()	
()			
支 払 家 賃			
保 険 料			
消 耗 品 費			
租 税 公 課			
雑 費			
()			
()			

貸 借 対 照 表

関東商店

平成○年/2月3/日

資 産	金 額	負 債 お よ び 純 資 産	金 額
現 金		支 払 手 形	
当 座 預 金		買 掛 金	
受 取 手 形 ()		前 受 金	
貸 倒 引 当 金 ()		()	
売 掛 金 ()		資 本 金	
貸 倒 引 当 金 ()		()	
有 価 証 券			
商 品			
()			
貸 付 金			
()			
()			
備 品 ()			
減価償却累計額 ()			

4

得点

第78回 簿記実務検定 2級 商業簿記 [解 答]

1	借 方		貸 方	
a	受 取 手 形	790,000	売 上	790,000
	仕 入	632,000	未 着 商 品	632,000
b	繰越利益剰余金	417,000	損 益	417,000
c	備品減価償却累計額	312,000	備 品	520,000
	未 収 金	180,000		
	固定資産売却損	28,000		
d	当 座 預 金	19,700,000	社 債	19,700,000
	社 債 発 行 費	230,000	当 座 預 金	230,000
e	仕 入	400,000	受 取 手 形	400,000
	保証債務費用	4,000	保 証 債 務	4,000
f	仮払法人税等	580,000	現 金	580,000
g	本 店	90,000	仕 入	90,000

2	当 座 預 金 出 納 帳										2
平成 〇年	勘定科目	摘 要	元 丁	売 掛 金	諸 口	平成 〇年	勘定科目	摘 要	元 丁	買 掛 金	諸 口
		前ページから		430,000	120,000			前ページから		180,000	130,000
/ 16	売 掛 金	群馬商店	売3	100,000		/ 14	現 金	引き出し	✓		140,000
22	売 上	埼玉商店	✓		160,000	30	支払手形	約手支払い	11		220,000
				530,000	280,000					180,000	490,000
31		売 掛 金	4		530,000	31		買 掛 金	12		180,000
〃		当座預金	2		810,000	〃		当座預金	2		670,000
		前月繰越	✓		400,000			次月繰越	✓		540,000
					1,210,000						1,210,000

売 上 帳							3
平成 〇年	勘 定 科 目	摘 要		元 丁	売 掛 金	諸 口	
		前ページから			80,000	310,000	
/ 15	現 金	茨城商店	現 金	✓		70,000	
	売 掛 金	掛 け		売1	110,000		
		C 品	300個 @¥600				
17	売 掛 金	千葉商店	掛 け	売2	225,000		
		A 品	450個 @¥500				
20	売 掛 金	千葉商店	掛け戻り	売2	15,000		
		A 品	30個 @¥500				
22	当 座 預 金	埼玉商店	小切手	✓		160,000	
		B 品	200個 @¥800				
					415,000	540,000	
31		売 掛 金		4		415,000	
〃		総 売 上 高		18		955,000	
〃		売上戻り高		18/4		15,000	
		純 売 上 高				940,000	

3

(1)	a	支店勘定残高との 一本勘定致 〃	536,000	b	本店損益計算書の 旅費(アの金額) 〃	291,000
	c	本支店合併後の 当期純利益(イの金額) 〃	205,000			
(2)	a	〃	459,000	b	〃	765,000
	c	〃				3,930,000
(3)	a	仕入高 〃	5,309,000	b	期間中の追加元入額 〃	60,000

総勘定元帳

現金 1		当座預金 2	
1/1 前期繰越	7,000	1/1 前期繰越	400,000
		1/31	670,000
		31	810,000
売掛金 4		支払手形 11	
1/1 前期繰越	580,000	1/30	220,000
1/31	530,000	1/1 前期繰越	300,000
31	415,000		
	15,000		
買掛金 12		売上 18	
1/31	180,000	1/1 前期繰越	280,000
		1/31	15,000
		1/31	955,000

売掛金元帳

茨城商店 1		千葉商店 2	
1/1 前月繰越	40,000	1/1 前月繰越	230,000
15	110,000	1/20	15,000
		17	225,000
群馬商店 3			
1/1 前月繰越	190,000	1/16	100,000

4

損益計算書

関東商店 平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで

費用	金額	収益	金額
期首商品棚卸高	2,070,000	(売上高)	20,820,000
仕入高	16,300,000	期末商品棚卸高	2,190,000
(売上総利益)	4,640,000*		
	23,010,000		23,010,000
給料	2,718,000	売上総利益	4,640,000
(貸倒引当金繰入)	85,000	(受取利息)	9,000
(減価償却費)	300,000		
支払家賃	912,000		
保険料	146,000		
消耗品費	63,000		
租税公課	42,000		
雑費	25,000		
(有価証券評価損)	40,000		
(当期純利益)	318,000*		
	4,649,000		4,649,000

- i 貸倒引当金繰入は、貸倒償却でもよい。
ii ※印の売上総利益と当期純利益の記入は、赤記でもよい。

貸借対照表

関東商店

平成○年/2月3/日

資産	金額	負債および純資産	金額
現金	509,000	支払手形	870,000
当座預金	1,420,000	買掛金	2,267,000
受取手形(1,600,000)		前受金	130,000
貸倒引当金(32,000)	1,568,000	(従業員預り金)	216,000
売掛金(2,900,000)		資本金	8,000,000
貸倒引当金(58,000)	2,842,000	(当期純利益)	318,000
有価証券	1,400,000		
商品	2,190,000		
(消耗品)	13,000		
貸付金	1,200,000		
(前払保険料)	50,000		
(未収利息)	9,000		
備品(1,800,000)			
減価償却累計額(1,200,000)	600,000		
	11,801,000		11,801,000